

すこしの工夫で驚くほど快適に!

# くらしの整理収納術

ハンガーによっては型崩れの原因に  
洋服に合わせたサイズ選びが重要



一般に、掛ける洋服の肩幅より10mm小さいサイズが目安。厚みはスーツ用ならハンガーの中央付近で20mm、肩付近で40mm。木製は塗装や種類によって防湿性や防錆電気性に優れ、プラスチックは種類が豊富。用途は写真①人の肩と同じような肩ラインの上着用ハンガー。②は収納時に場所を取らない薄型タイプ。シャツやTシャツに最適。③はピンチ付きのボトムス用でしわを伸ばしてくれる。④は2つ折りでしまうボトムス用。下部のスペースを有効活用でき、サッと取り出せる。⑤複合型は高さを生かした収納力が光る。



クリップで区分け  
利用場所を明確に

突っ張り棒に円形ケーブルクリップを取り付け、ハンガーの仕切りにする。家族の個別スペースを作ったり、トップスとボトムスを分けたり、目的に応じて明確に区分けできる。

ハンガー同士を連結  
わずらわしさを解消

トップスとボトムスを掛けたハンガー同士を連結できる専用フック。それぞれを掛けてから、簡単にひとまとめにできるのがメリット。一つのハンガーに両方掛ける際、ボトムスだけを取り出す際のわずらわしさを丸ごと解消してくれる。いくつでも連結できるので同種のシャツをまとめるのにも便利。



## クローゼットの便利アイテム

クローゼットの利便性を高める収納グッズを紹介。小さな工夫の積み重ねが飛躍的な利便性を生み出す。本誌7月号で紹介した「押し入れのクローゼットの活用」でも大活躍する。



ジャストフィットの  
アイデア収納

取って置いたが利用機会に恵まれない。そんな紙袋を有効活用するテクニク。使うスペースよりも高のある紙袋は上部を内側に折り込めば、どこにでもフィットするアイデア収納になる。厚手の紙袋なら耐久性もバッチリ。本誌7月号では、押し入れ中段に置いたカラーボックスの中に、同種の紙袋を6つ使いバッグやストールなどをしまっている。

### 今月のポイント!

ハンガー選びのポイントは「肩幅」「厚み」「素材」「用途」。男性、女性、子ども、それぞれの洋服に合ったモノを選ばないと型崩れの原因になる。

教えてくれたのは…

整理収納アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生として「住まい方アドバイザー」の勉強中。

